

事務事業評価シート

評価年度	平成30年度	対象事業年度	平成29年度
------	--------	--------	--------

所属・担当者氏名	環境建設部 土木管理課 土木管理係 米田 真幸	評価責任者 (担当課長)	土木管理課長 山本 善一
----------	-------------------------	-----------------	--------------

1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称	道路維持事業(舗装修理)		② 整理番号	03020203-003
③ 第4次総合計画の施策の体系	章	元気にぎわいのまちづくり		
	節	都市基盤の整備		
	項	道路交通体系の確立		
	号	生活道路の整備		
④ 関連する個別計画	なし		⑥ 事務の種類	自治事務
⑤ 根拠法令・条例等	道路法			

2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	道路維持整備のため。
② 対象 (誰・何を対象として)	道路利用者
③ 手段 (どのようなやり方で)	定期的な市道の交通安全パトロールを行って、補修すべき路線を拾い出し、地元総代からの要望された箇所と併せて通行上の危険度、全体の通行量、路面の劣化を総合的に検討し、優先順位の高いものから順次実施している。又、緊急要する道路の陥没や通行上危険な箇所はパトロールでの発見や一般市民からの通報に基づき迅速に修理を行う。
④ 成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	安全かつ円滑な通行の確保

3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移

※概算人件費は「人件費計算シート」による

(単位：千円、人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
① 直接事業費	41,671	34,989	38,533	54,131	(予算) 60,442
② 概算人件費	(1.38) 8,065	(1.00) 7,331	(3.88) 24,857	(2.08) 12,006	
一般職員(職員数)	(1.00) 7,435	(1.00) 7,331	(3.38) 24,017	(1.58) 11,166	
嘱託職員(職員数)					
臨時職員(職員数)	(0.38) 630		(0.50) 840	(0.50) 840	
③ 合計(①+②)	49,736	42,320	63,390	66,137	
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)					
⑤ 一般財源(③-④)	49,736	42,320	63,390	66,137	

4. 評価指標

種類	指標名	指標の算出方法等	実績値			
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	① 年間整備面積	年間整備面積(舗装)	6,839 m ²	4,309 m ²	4,918 m ²	6,849 m ²
	②	年間整備面積(除草)	8,750 m ²	7,441 m ²	9,459 m ²	9,458 m ²
成果指標	① 市道舗装率	市道舗装率	97.95 %	97.95 %	98.62 %	98.62 %
	②					
効率指標	① 整備1m ² 当りのコスト	事業費/年間整備面積(舗装)	4,718 円	5,834 円	6,169 円	6,698 円
	②	事業費/年間整備面積(除草)	180 円	240 円	254 円	291 円

5. 項目別評価

評価の視点	3段階評価	評価の根拠
①妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	A	関係法令等で目的が定められており、妥当である。
②有効性 (成果は向上していますか、向上していない場合向上のために改善の余地はありますか)	A	施工個所については、より安全かつ円滑な通行確保ができ成果は上がっているが、今後も引き続き起こりうる危険箇所の対応はしていかなければならない。
③効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、不適切な場合改善の余地はありますか)	A	単位当たりのコストは、舗装の種類、工法によって異なるため年度によって違いが生じる。

6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善・見直しの内容(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)
B	<input type="checkbox"/> 人件費の重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 予算の重点化 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 事業の統合 <input type="checkbox"/> 実施内容の変更 <input type="checkbox"/> その他
	平成30年度で舗装の個別施設計画を策定し、平成31年度より幅員の広い市道について改修工事を施工する。

7. 2次評価 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善内容・改善計画(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)